

第6回学校建設
準備委員会 概要報告

新しい学校は真鶴中学校の場所に！

7月16日、町民センター3階講堂において、「第6回真鶴町学校建設準備委員会」が開かれました。座席を決める今回のくじは、小説家、湊かなえさんの作品「絶唱」の一節から作られたものでした。「子どもは 太陽だ 子どもたちが 輝かない場所に 作物は実らない 人は集まらない 町はできない どんな絶望的な 出来事が 起こっていても 子どもたちが 輝いているかぎり そこには 未来が訪れる」14個（14人分）に区切られたフレーズがそれぞれのかじに書かれており、それをつなぎ合わせると、この一節になるという仕掛けです。「一人一人の子どもが太陽のように輝ける、そして、その輝きが町の輝きにつながる。そんな学校を委員の皆さんと力を合わせて作り上げたい。」という事務局の言葉から会議が始まりました。

それでは、第6回学校建設準備委員会の協議事項等について報告します。



5つの評価項目から総合的に判断を～小学校地との比較～

評価項目	候補地			小学校地			中学校地		
	◎	○	—	◎	○	—	◎	○	—
安全面・立地条件	0	5	3	5	6	3			
学習環境	1	4	1	5	8	1			
町民との交流	3	6	2	3	5	2			
給食のあり方	0	0	1	5	8	1			
移転の条件	0	4	1	5	8	1			
人数（計）	4	19	8	23	35	8			

各評価項目に対する集計結果表

（複数回答あり）

◎＝とても優れている ○＝優れている —＝判断が難しい

今回の準備委員会の最大のテーマは、建設地の決定でした。学校設置基準に準拠し、候補地を小学校地か中学校地かどちらかにすることを確認した後、質疑を含め資料確認を行いました。そして、全委員承諾のもと、5つの評価項目について各委員から一人ずつ意見を出し合いました。各委員それぞれの思いがある中、それらを可視化するため、「◎」「○」でホワイトボードに整理していきました。その集計結果が上の表です。委員総意のもと、準備委員会として中学校地を建設地とすることに決定しました。また、小学校地の利用についての要望を、付帯意見として、教育委員会に提出し、町長に提言することも確認されました。

委員から出された主な意見は、次のとおりです。

●安全面・立地条件

- ・海側も山側も、どちらも大道通りが危ないと感じる。
- ・中学校のほうは県道があるが跨線橋があって安全である。
- ・中学校側だと、信号機の設置の必要性が高まる。
- ・中学校側は半島に向けて扇形状にまちづくりを新構想していくイメージ、小学校側は同心円的に今までのものを活用していくイメージである。

●学習環境

- ・敷地が広いほうが学習形態を工夫しやすいのではないかな。
- ・小学校のほうが公共施設との連携が図りやすい。
- ・中学生にとってグラウンドの広さは必須だと思う。
- ・半島との距離も、それも学習環境の一つではないかな。

●町民との交流

- ・町民との交流の要は、やはり小学校ではないかな。
- ・駐車場を確保できるのは、中学校のほうだと思う。
- ・真鶴駅に近く社会人や高校生、大学生もすぐ寄れる。

●給食のあり方

- ・自校給食にかなうものはない。今後も維持させたい。
- ・今の中学生にも学校で給食を食べさせてあげたい。

●移転の条件

- ・小学校の跡地のほうが、いろいろと利用価値が高いように思う。



新副委員長に小林委員を選出

空席となっていた副委員長に小林宏己委員（早稲田大学名誉教授）が選出されました。委員にはこれまで、真鶴町の幼児教育や小中の連携教育の研究に関わっていただいています。よろしくお願いいたします。



児童・生徒の願いを聞く会（第2弾）を開催！

6月28日にまなづる小学校6年生の児童と、7月9日には真鶴中学校の生徒会役員と、昨年度に引き続き「児童・生徒の願いを聞く会」を開催しました。6年生とはワークショップ形式で、生徒会役員とは他の各種委員の声も反映させた形で、新しい学校について意見交換を行いました。

主な意見は、次のとおりです。

<小学生> カードゲームができる場所がほしい。エレベーターがあったらいい。教室の色をパステルカラーに。休憩時間にスマホゲームがしたい。学食を作ってほしい。室内プールを作ってほしい。身だしなみに関する校則をなくしてほしい。<中学生> 静かに休める場所がほしい。生き物を飼いたい。屋上に行けるようにしたい。ロッカーを大きく。部活ごとに練習できる場所、部屋がほしい。運動場のネットを高く。黒板ではなくホワイトボードに。Wi-Fiを強く。給食と弁当を選択制に。体育館を広くして。iPadを持ち帰れるようにしてほしい。



仮校舎への移転は2026（令和8）年8月に

真鶴中学校地への新校舎建設が決定したことに伴い、工事期間中、中学生には一度仮校舎（まなづる小学校）へ移ってもらう必要があります。今後の計画の進み具合にもありますが、現時点では「2026（令和8）年8月」を予定しています。ご面倒をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

なお、次回からの準備委員会では、学校の形態（義務教育学校か小中一貫型小中学校か）や学年の区切り（4・3・2制、6・3制、5・4制等）のほか、給食施設・体育館・プール等のあり方について、協議を進めていくことになります。

委員会の議事録と資料（一部）はコチラから↓

第7回準備委員会のお知らせ＊傍聴も大歓迎

日 時：9月17日（火）13:40～

会 場：町民センター3階 講堂（予定）

テーマ：「学校の形態」「学年の区切り」など

